

ふるさとの方々の皆様の声援を力に、 人の心を動かせる アーティストを目指します。

◆歌を始めたきっかけは？

中学時代に人前で初めて歌った時に、聞いていた人から「感動した」、「上手」と言われたことが歌手を目指したきっかけになっていると思います。それまでは人前で歌うきっかけがなかったので、自分の歌声で人に感動してもらえと思うていなくて、自分自身も感動しました。

◆廿日市で好きな場所は？

鳥弁が
出てしまひ
ます。方言で話すと東京の人から「新鮮でいいね」と言われます。

◆ふるさとを離れてみて感じる廿日市や広島の良いさは？

とにかく自然がたくさんあるところ。中学校時代に通っていた学校は窓から、瀬戸内海が見えるとても景色がきれいなところでした。東京に比べると簡単に海は見えないので、自然の大切さを改めて感じました。あとは、地元の人々が優しいところですね。広島弁も懐かしさを感じます。普段は方言が出ることはあまりないのですが、同郷出身の方に会うと、ついつい広

なんといつても宮島で、帰省するたびに必ず行っています。また、毎年お正月になると速谷神社に初詣に行きます。恒例になっているので、地元の友達などたくさんさんの知り合いに会えてうれしいです。

◆花岡さんにとって、ふるさと廿日市とは？

上京するまで自分を育ててくれたまちなので、やはり地元に戻ってくるホツとします。これからは、今ある自然は残しつつ、新しく「廿日市市といえばこれだ」といえるような代表的なものがあるまち

◆市民の皆さんにメッセージをお願いします。

地元でライブをするとき、いつもたくさんの方の応援をしてくださり、本当にありがとうございます。皆さんのあたたかい声援が力になっています。これからも、ひとりでも多くのの人に、花岡なつみの歌を届け、少しでも人を感動させられるようなアーティストになれるように一生懸命頑張りますので、応援よろしくお願いします。



⇒宮島は、景色もいいし、自然がたくさん残っていて、とても落ち着くところです。悩み事があると、宮島に足を運んで心を落ち着かせます。



●1996年6月24日生まれ。廿日市市出身。広島の名門スクールでシンガーを目指して14歳からボーカルレッスンを積んできた実力派。フレッシュなルックスと確かな歌唱力、低音のふくよかで大人っぽい声が魅力。2014年8月に開催された「第14回全日本国民的美少女コンテスト」において8万1,031人の中から音楽部門賞を受賞し、2015年3月高校卒業を機に上京。2015年8月にシングル「夏の罪」でデビュー。2017年1月にはつかいち応援大使を委嘱。

◆小学校の頃の地元大野での野球の思い出は？

体を動かすのが好きだったので、小学校一年の時に大野友星（少年野球チーム）に入り、野球を始めました。中学生になると大野シニアに入団しましたが、チームメイトみんな仲が良く、楽しかったです。近くにカープの練習場があるので、栗原健太選手（現・楽天コーチ）にサインをもらいに行ったこともあります。

◆中学時代も全国から注目されていたそうですが、広陵高校を選ばれた理由は？

いろんな高校の監督が中学まで来られたのですが、ほかの監督が技術のことばかり話される中、広陵の中井先生は人の生き方について話され、この人のもとで学べば、野球の技術も人間性も高めることができると思うからです。その時、監督が言われた「男としてまっすぐ正直に生きろ」という言葉は、今も

心の中に響いています。

◆甲子園で打撃記録を次々と塗り替える活躍をされましたが、苦しい時もあったと思います。そんな時は、どのように乗り越えていましたか？

中学時代の友だちは、みんな良い奴らばかりで、いつも勇気や元気をもらっています。思うような結果が出なかった時、「みんな応援している。甲子園で活躍する姿を見せてくれ」と言ってもらったのはうれしかったですね。

◆地元で好きな場所、思い出に残っている場所は？

大頭神社のお祭りにはよく行っていましたし、妹背の滝でもよく遊びました。宮島の花火大会の時は、家から良く見えるので、友だちが遊びに来ていました。食べ物美味しい

のも廿日市市の良いところですね。かきフライとあなご飯が好きです。

◆プロに入るにあたっての意気込みを聞かせてください。

中井先生に社会に出て活躍できるように鍛えていただいたので、人間的な部分での不安はありません。しかし、体力をつけることも含め、技術的にはもっとと上を目指さなければいけないと思います。とりあえずの目標は、一軍に上がることです。

◆夢を抱いている子どもたちへのメッセージをお願いします。

何ごとも、夢を目指して頑張らなければ叶うものではありません。最初は小さいものでもいいですから、何か具体的な目標を定めて、それに向かって全力で取り組んでいく欲しいですね。



●1999年6月6日生まれ。廿日市市出身。小学1年から少年野球クラブ「大野友星」で野球をはじめ、3年から捕手に転向。中学3年時には軟式野球のチーム「大野シニア」のメンバーとして、広島県でベスト8に入る。広陵高校では1年春からレギュラーとして活躍し、1年夏から背番号「2」。ドラフト会議では広島と中日が1位指名し、抽選で広島が交渉権を獲得。高校生捕手の1回目の入札競合はNPBドラフト史上初。



⇒小田島公園は、小学校や中学校の時に、野球チームの仲間たちと一緒に練習した思い出の場所です。当時の仲間たちには今でも励ましてもらっています。

廿日市市には 一緒に頑張った仲間がいて、 いつも勇気と元気をもらっています。



プロ野球選手
中村 奨成さん
Shosei Nakamura

歌手
花岡なつみさん
Natsumi Hanaoka

日本一眺めの良い「ボートレース宮島」で、皆さんに感動を与えるレースをしていきます。

◆ボートレーサーになられたきっかけは？

私は三人姉弟の一番上で、二人弟がいるのですが、下の弟がボートレーサー養成学校に入学し、その卒業記念競走を家族で見に行つて感動したんです。すごいスピード感と迫力あるエンジン音、そして何より選手一人ひとりの必死な姿を見て、かつこいい！と思いました。その頃、市内の保育園で保育士をしていて、その仕事も好きだったんですが、私もボートをやりたいという思いが募り、倍率約四十倍の養成学校を受験したんです。

◆養成学校は

厳しいそうですね。

練習はもちろん、それ以外の時間管理も厳しく、外出も月一回で、携帯での連絡もできません。辛い時もありましたが、先にプロになった弟の手紙に励まされました。今は上の弟もレーサーになつていて、三人で情報交換をしています。

◆それまで、スポーツはされていたんですか？

中学では剣道、高校ではソフトボールをしていて、中国大会にも出場しました。昭北グラウンドや桂公園は、練習で思いついた場所です。でも、ボートとは無縁だったので、みんな驚いていました。

◆今も廿日市市に住まれていますか、地元の良いところは？

佐伯地域にいますが、自然が豊かで、空気がきれい。星空も素晴らしいです。不便だと思つたこともありますが、今は住みやすいところだと感じます。市外の人に見てもらいたいのは、やはり宮島で

◆今後の抱負と市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

ボートレースはスポーツとして見て、も、とても楽しめるものです。スピードと思い切つた試合運びが、私のレーススタイル。一生懸命走つて、見ていて面白いと思つていただければ、ようなレースをしていますので、応援よろしくお願いします。



⇒花火やコンサートなども開かれる、佐伯地域最大の夏のイベント「さいき水まつり」で、鮎のつかみ取りをしたことが、子どもの頃の楽しい思い出です。



ボートレーサー
向井田真紀さん
Maki Mukaida

PROFILE
●1987年10月8日生まれ。廿日市市出身。廿日市高校、鈴峯女子短期大学卒業。保育士を経て、ボートレーサーに。現在、B1級。2017年、ボートレース宮島で開催された「第1回GIIレディースオールスター」にファン投票で選ばれる。弟の佑紀さん、直弥さんもボートレーサー。

◆歌を始めたきっかけは？

物心ついた時から歌手になりたいと思つていて、小学校の頃は地元の夏祭りの歌合戦に出場していました。中学に入る頃にギターを買い、曲を作り始めました。中学の合唱祭のオープニングで歌つたのが、人生初のライブです。高校に入ると、廿日市市の「青少年夢プラン実行委員会」の委員となり、バンドを組んでライブ活動を始め、本格的にプロを目指すようになりました。

◆音楽活動のかたわら、市内の介護施設でも働いておられました。

介護施設にボランティアで歌いに行つた時に誘ってもらい、少しでも誰かの役に立つ仕事がしたいと思い、そこで働き始めました。重度の障がいをもつ子どもたちとも、音楽を通してつながることができ、歌うことへの思いをより強めることができたと思います。この経験があったか

◆平成二十八年四月にメジャーデビューされました。

普段、トレーニングで毎日速谷神社までジョギングをしていて、お参りしていったんです。すると、テレビ局から急きょ連絡があつて、歌のオーディション番組に出演することになりました。グランプリを獲得することができ、その直後、さくらびあ大ホールでのコンサートも成功させられました。ご利益があつたんだと思います。

◆香川さんにとって、ホームである廿日市市はどんなところですか？

自分にとって一番大切な人たちがいるまちです。

◆市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

音楽はあくまで、人の日常を励ますもの。主役は聴いている皆さんの人生や生活だと思っています。これからも、皆さんの暮らしに寄り添うような曲を歌つていきたいです。



⇒廿日市天満宮は、子どもの頃から二百廿日豊年市民祭などで、よく遊びに行っていました。向かいにある中央市民センターでバンドの練習をしていたこともあつて思い出深い場所。「桜日和」という曲のモチーフにもなりました。

PROFILE
●1986年6月30日生まれ。廿日市市出身。宮島工業高校卒業。2016年1月、オーディション番組「歌王2016」にてグランプリを獲得。さくらびあでの凱旋コンサートで成功させる。2016年4月にメジャーデビュー。全国で年間200本ほどのライブを行う。2017年、映画「ケアンズ〜あなたでよかった〜」の主題歌を担当。2018年、自分の中のベストアルバムという「BGM」をリリース。FMはつかいちの番組「香川裕光のAcousticラジオ」のパーソナリティも務める。

一番大切な人たちがいるまち、廿日市市から、全国に音楽を届けていきたい。

シンガーソングライター
香川 裕光さん
Hiromitsu Kagawa